

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	小月老人憩の家
所在地	下関市小月本町二丁目14番34号
指定管理者	団体名称 下関市老人クラブ連合会小月支部
	代表者 支部長 藤田 友春
	団体所在地 下関市小月本町二丁目14番34号
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	福祉部長寿支援課
	TEL : 083-231-1168
	E-mail : fkchojus@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□ 指標：施設の利用者数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
目標値	7,500	7,600	—	—	—	—
実績値	4,173	—	—	—	—	—
差	△ 3,327	—	—	—	—	—

令和3年度の実績値は対前年度比で19%の減となり、目標値の達成率については55%となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で休館した期間があったことや、利用団体の会員数が減少したことによるものと考えます。

■ モニタリングの総合コメント

老人憩の家の設置目的は、高齢者の健全な憩の場を確保し、心身の健康の増進を図ることです。令和3年度の管理運営実施状況については、施設の設置目的に沿った計画に基づき、施設の維持管理、業務が適正に行われていることから総合的に判断して概ね良好と評価します。

利用者数は前年度より減少しておりますが、地域の行事にも利用されており、高齢者の生きがいがづくりに寄与していると考えます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和4年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上・充実を図り、高齢者が安心して利用できる施設運営に努めるよう求めます。高齢者、老人クラブ等に対する活動等の周知を継続し、利用者の増加を図っていくことを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、希望者が公平に利用できるよう運用していました。施設の効用については、高齢者を中心に幅広く活用されることで地域づくりにも貢献しています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

フラダンス、囲碁、将棋、カラオケ教室等を事業計画に則って適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

運営状況については、老人クラブ会員より日直者を出し、ローテーションを組んで管理運営を行っていました。施設の維持管理についても、清掃や換気を行い適切に実施していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

管理経費の支出について適正に処理され、領収書や帳簿も整備保管していました。毎月作成する業務報告についても整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

緊急時の対応については、連絡体制の確保及び市との共有により必要な対策をとっていました。さらに、利用者も含めたマスクの着用や消毒、3密の回避といった新型コロナウイルス感染症対策にも取り組んでいました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定等の徹底について、掲示による周知など創意工夫をして節電を実施していました。
また、利用者にごみの持ち帰りを呼びかけるなど、廃棄物の縮減に取り組んでいました。

事業収支

経済性

収支について、概ね当初計画の範囲内において適正に執行していました。

団体の経営状態

経営の健全性

特に問題ないと判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	小月老人憩の家
所在地	下関市小月本町二丁目14番34号
指定管理者	団体名称 下関市老人クラブ連合会小月支部
	代表者 支部長 藤田 友春
	団体所在地 下関市小月本町二丁目14番34号
モニタリングの 実施方針・方法 等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	福祉部長寿支援課
	TEL : 083-231-1168
	E-mail : fkchojus@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	7,500	7,600	7,200	—	—
実績値	4,173	4,634	—	—	—
差	△ 3,327	△ 2,966	—	—	—

令和4年度の実績値は対前年度比で11%増となり、目標値の達成率は60%となりました。新型コロナウイルス感染症による行動制限等が和らぎ、利用者が戻りつつあるものと考えます。

■ モニタリングの総合コメント

老人憩の家の設置目的は、高齢者の健全な憩の場を確保し、心身の健康の増進を図ることです。令和4年度の管理運営実施状況については、施設の設置目的に沿った事業計画に基づき、施設の維持管理、業務が適正に行われていることから総合的に判断しておおむね良好と評価します。

目標値は達成できていませんが、地域の行事にも利用されており、高齢者の生きがいがいづくりに寄与していると考えます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和5年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の更なる向上・充実を図り、高齢者が安心して利用できる施設運営に努めるよう求めます。高齢者、老人クラブ等に対する活動等の周知を継続し、利用者の増加を図っていくことを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設定目的に沿った事業計画に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、希望者が公平に利用できるよう運用していました。施設の効用については、高齢者を中心に幅広く活用されることで地域づくりにも貢献しています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

ブラダンス、囲碁、将棋、カラオケ教室等を事業計画にのっとり適切に実施していました。また、独居高齢者を招いた食事会を開催し、地域における見守り体制の構築にも貢献していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

運営状況については、老人クラブ会員より日直者を出し、ローテーションを組んで管理運営を行っていました。施設の維持管理についても、清掃や換気を行い適切に実施していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

管理経費の支出について適正に処理され、領収書や帳簿も整備保管していました。毎月作成する業務報告についても整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

緊急時の対応については、連絡体制の確保及び市との共有により必要な対策をとっていました。さらに、利用者も含めたマスクの着用や消毒、3密の回避といった新型コロナウイルス感染症対策にも取り組んでいました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定等の徹底について、掲示による周知など創意工夫をして節電を実施していました。
また、利用者にごみの持ち帰りを呼びかけるなど、廃棄物の縮減に取り組んでいました。

事業収支

経済性

収支について、おおむね当初計画の範囲内において適正に執行していました。

団体の経営状態

経営の健全性

特に問題ないと判断しました。

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	小月老人憩の家
所在地	下関市小月本町二丁目14番34号
指定管理者	団体名称 下関市老人クラブ連合会小月支部
	代表者 支部長 藤田 友春
	団体所在地 下関市小月本町二丁目14番34号
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営状況の確認は、事業報告書、指定管理者へのヒアリング等により行いました。</p> <p>その後、指定管理者選定時の選定基準の項目等に基づき、業務の具体的な実施状況等の確認を行い、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	福祉部長寿支援課
	TEL : 083-231-1168
	E-mail : fkchojus@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	7,500	7,600	7,200	7,100	—
実績値	4,173	4,634	5,027	—	—
差	△ 3,327	△ 2,966	△ 2,173	—	—

実績値が目標値を下回ってはいるが、令和5年度の実績値は、対前年度比で8%増となり、利用者数は少しずつ増加している。

■ モニタリングの総合コメント

老人憩の家の設置目的は、高齢者の健全な憩の場を確保し、心身の健康の増進を図ることである。

令和5年度は、設置目的を踏まえ、体操、カラオケ、フォークダンス、ゴルフ等、数多くの活動を実施し、高齢者の生きがいに寄与している。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和6年度以降も、幅広い分野にわたる活動の継続に取り組み、高齢者の活動の選択肢を広げることを求める。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った運営を行っていた。
多くの活動を実施し、利用希望者の選択肢が広がっている。
さわやか健康体操は、20人を超える参加者があり、地域の健康づくりにつながっている。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

事業計画を踏まえ、体操、カラオケ、フォークダンス、ゴルフ等の幅広い活動を実施された。
独居の高齢者を招いた食事会も開催し、地域における見守り、社会参加を図られた。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

日直者を決め、ローテーションを組んで管理運営を行っていた。
清掃や換気等を適宜行い、施設の衛生管理に努めていた。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

領収書や帳簿を整理し、適正な管理経費の支出に努められていた。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

緊急時の連絡体制を確立し、マスクの着用や手指の消毒等、感染症対策にも取り組まれていた。

社会性(環境等への配慮)

照明の消灯、冷暖房機器の省エネ設定等、施設内の掲示等の工夫を行う等、節電に取り組まれていた。

事業収支

経済性

当初計画を踏まえ、節電等の工夫を行う等、適正な支出に努めていた。

団体の経営状態

経営の健全性

業務の運営、経費の管理等、問題はないと判断した。